

シンポジウム
クルマ社会を考える

「真に必要な道路」を問う

登壇者 (予定・順不同)

菅 直人

(衆議院議員、民主党代表代行)

山本 有二

(衆議院議員、自由民主党道路調査会長)

寺西 俊一

(一橋大学大学院経済学研究科教授)

国土交通省

(交渉中)

中島 敏

(弁護士、当会会員)

パネル
司会

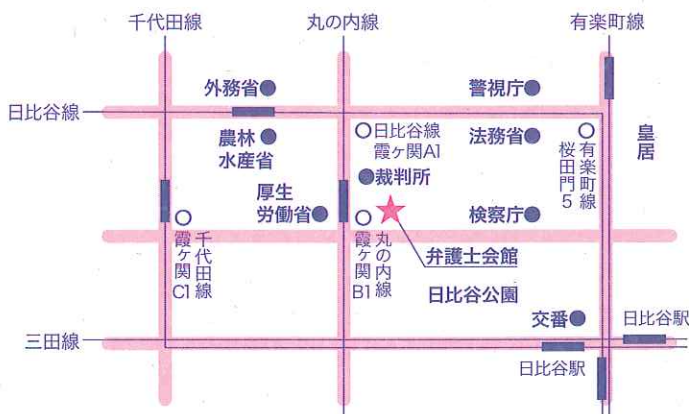
石黒 徹

(弁護士、当会会員)

冒頭挨拶

庭山正一郎 (当会会長)

政府・与党は、2008年12月8日「道路特定財源の一般財源化等について」を公表し、「今後の道路整備に当たっては、最新のデータに基づく交通需要推計結果をもとに、見直した評価手法を用いて厳格な評価を行う」と述べている。では、その後公表された各種の方針は、無駄な道路事業を廃し、政府が掲げるバリアフリー社会、温暖化の防止、交通事故・大気汚染・騒音等の減少、交通の快適性等の目標を実現できるのか？ 景気と財政がともに急速に悪化する中、道路事業は経済・地域の活性化にどこまで有効なのか？ 二大政党の政策責任者をはじめ論客を招き、環境と調和したこれからの交通政策を考える。



当日は自動車でのご来場はご遠慮下さい。

2009年3月18日(水)

18時より20時30分まで

主催●第二東京弁護士会

環境保全委員会

(<http://www.niben.or.jp>)

会場●弁護士会館 3階会議室

地下鉄「霞ヶ関駅」(丸の内、日比谷、千代田線)
B1-b出口より直通、A1出口より徒歩2分、C1出口より徒歩3分

入場無料・予約制

(kankyo@niben.or.jp 若しくは

03-3581-2257 川村まで、

人数と代表者氏名をお知らせください)



このリーフレットは再生紙・大豆油インキを使用しています。